

ズバリ、特許調査の秘訣を教えます

第1章 特許調査は技術者の仕事

1. はじめに：特許調査の必要性和進め方
2. 特許調査は技術者の仕事
3. 特許調査は技術者の発明能力を高める
4. なぜ技術者が特許調査する必要があるのか
5. 新製品は既存技術の組み合わせから生まれる
6. 特許調査を行う様々な場面

第2章 特許調査の目的を明確にする

1. 特許情報は経営開発情報でもある
2. 特許調査の目的
3. 特許調査の目的と内容と、その種類（1）
4. 特許調査の目的と内容と、その種類（2）
5. 研究開発（商品開発）と特許調査との関係

第3章 主題調査の進め方と情報検索

1. 主題調査のすすめ方
2. 権利侵害の調査は知財部門との協力で行う
3. 特許明細書を効率よく読み分ける「コツ」
4. 特許明細書の構成（1）（2）
5. 発明とは、発明の種類
6. 発明を簡単に把握する方法
7. 主題調査に必要な国際特許分類（IPC）を知る
8. 国際特許分類 付加分類（任意分類）の種類
9. 「FI検索」と「Fターム検索」
- 10.（参考）：水耕栽培技術でのキーワード例

第4章 情報検索の準備と国際特許分類(IPC)の基本知識

1. 情報検索を行う前に、まず質問（1）
2. 情報検索を行う前に、まず質問（2）
3. 情報検索を行う前に、まず質問（3）

4. 情報検索を行う前に、まず質問 (4)
5. 情報検索について
6. 情報検索の「適合率」と「再現率」
7. 情報検索の準備と手順
8. 情報検索で使う「検索キー」
9. 情報検索へのステップ
10. 特許調査目的に合った特許調査が行える「特許データベース」

第5章 参考) 新規事業の立ち上げ時における特許調査新商品のについて

1. 知財の安全確認と自由に開発できる技術領域の確保 (1)
2. 目的地へ辿り着く航海図を持つ (2)
3. 羅針盤にそった特許調査とは (3)
4. 特許調査に最も重要な情報とは (4)
5. 要素技術を浮かび上がらせる「戦略的特許調査」(5)